

「地域密着型金融推進計画の進捗状況について」

当金庫は、「リレーションシップバンキングの機能強化計画」を踏襲・継続した「会員・お客様よし」「地域社会よし」「信用金庫よし」の三方よし経営を基本スタンスとした「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」(平成17年4月～平成19年3月)に取り組んでまいりました。

その進捗状況の概要につきましては【大項目毎の進捗状況と、進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題】を参照して頂きたいと思いますが、主な取り組み実績につきましては以下のとおりでございます。

1. 企業再生・中小企業金融の円滑化への取組について

- ・本部・営業店の役職者を対象とした「目利き力」の向上を図る目的のため各種の外部研修等に職員を積極的に派遣し、また研修終了後においても庫内研修会を実施するなどして人材の育成に努め、また企業再生支援活動につきましても本部・営業店・中小企業診断士が一体となって再生支援先に訪問する等の活動を展開してまいりました。
- ・東京チャレンジファンドへの組合員加入のほか、シグマバンクグループ内のシンジケートローンに参画するなど地域の再生に向けた活動に積極的に取り組んでまいりました。
- ・新たな金融商品といたしましては、地元商店街活性化に向けた「商店街活性化ローン」・地域環境改善に向けた「エコビジネスローン」「エコ省エネローン」を発売するなど金融的側面から地域経済の活性化に向け取り組んでまいりましたが、18年度新たに過度に担保・保証に依存しない融資として「スモールローン」や設備担保信用補完制度の「しんきんMEサポート」の取扱いを開始いたしました。
- ・東京商工会議所との連携強化の一環として、「メンバーズビジネスローン」を発売するとともに、会員の増強に努め地域内連携および地域経済の活性化に貢献してまいりました。
- ・シグマバンクグループとしては「中小企業新事業活動促進法」の認定を目的とした「シグマ異業種交流会」を継続開催し、第4弾においても20社の企業が参加され参加企業は計80社となりました。平成19年度におきましても第5弾の「異業種交流会」を予定しており、また新たな取組みといたしましてビジネスマッチングフェア等についても計画・検討いたしております。

2. 経営力の強化への取組について

- ・リスク管理態勢の高度化につきましては、情報漏えい防止ソフト(秘文)の導入、個別ユーザIDによる認証などのセキュリティー強化を実施しリスク管理の高度化に注力してまいりました。
また、組織変更を実施し新たにリスク管理の統括部署として「リスク管理部」を設置いたしました。
- ・収益管理態勢の強化に向けては、信用格付システムの導入に向けサンプルをピックアップし財務データの修正を行い具現性に向けた取組みを開始いたしました。
- ・バーゼルへの対応としては各種のデータ整備を実施しリスクアセット算出における正確性やプロセスチェック等の検証に向けた作業を開始いたしました。
- ・コンプライアンス態勢につきましては、従来通り監査及び指導を継続的に実施いたしました。

またコンプライアンス委員会へ顧問弁護士を招聘し、各種の相談事項に対応できる態勢を整備するとともに、コンプライアンス・オフィサー有資格者の継続養成を行い、職員個々のコンプライアンスへの意識向上を図っております。

3. 地域の利用者の利便性向上について

- ・地元唯一の大学である東京聖栄大学との連携により地域への貢献・活性化を目的とした業務連携に向け、金庫として新たな組織化の立ち上げを行うとともに、同大学との連携する態勢整備を図ってまいりました。また同大学より講師を招聘し組織化会員に対して講演会などを実施いたしました。
- ・お客様満足度に関するアンケートを実施し金庫経営に反映させるとともに利用者の利便性の向上を図りました。

また、CSRの一環として本店営業部ならびに3店舗において店舗入り口のバリアフリー化を実施いたしました。19年度以降につきましても引き続きCSR活動に努めてまいります。

4. 基本業績目標について

平成17年～18年度の基本業績の推移につきましては下記に記載いたしておりますが、出資会員数につきましては、共同組織金融機関の良さや地域への貢献等を積極的にPRしたことにより当初目標を達成【17年3月末比857名増加(増加率7.68%)】し、19年3月末で12,010名の会員数となりました。全体の預貸率につきましては、預金増加額が融資増加額を大幅に上回ったことにより当初の設定目標値52.61%に対し2.60%減少し50.01%に低下いたしました。

また、地域内の預貸金シェアにつきましては、地域内の預金シェアは当初目標を大幅に達成いたしました但し修正目標値とした93.50%に対しては0.01%の未達となりました。また地域内の貸出金シェアにつきましては当初目標値に対し、大口先の本社移転等の要因もあり0.35%の未達となりました。

【基本業績】

	17年3月 末日	18年3月 末日	19年3月 末日	18年度末目標	目標比増減
出資会員数	11,153人	11,641人	12,010人	12,000人	10人
全体の預貸率	50.36%	49.70%	50.01%	52.61%	2.60%
総預金に占める地 域内の預金構成比	92.70%	93.21%	93.49%	93.50%	0.01%
総貸金に占める地 域内の貸金構成比	94.1%	93.92%	94.65%	95.0%	0.35%
自己資本比率	8.37%	8.66%	8.78%	9.0%台を目指します	0.22%

上記の基本業績目標は、将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化等による不確実性を内包しております。

ここで示す地域内とは、当金庫店舗所在地〔葛飾区、江戸川区、江東区、浦安市(一部地域を除く)〕を表します。

平成19年5月11日

東栄信用金庫

理事長

小川恒明